



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <https://www.santen.com/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 伊藤 毅

問合せ先責任者(役職名) IR室 室長

(氏名) 佐久間 ギヨム TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2023年8月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	72,389	10.5	15,542	46.6	12,792	65.2	12,800	64.9	34.33	34.23
2023年3月期第1四半期	65,533	0.8	10,600	△9.5	7,744	△14.2	7,762	△14.1	19.55	19.54

IFRS(フル)ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	72,389	10.5	12,750	53.0	12,868	41.8	10,412	55.5	10,414	56.3	19,778	1.5
2023年3月期第1四半期	65,533	0.8	8,333	△9.0	9,074	△1.1	6,695	△8.6	6,663	△9.2	19,479	105.2

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.93	27.85		
2023年3月期第1四半期	16.79	16.77		

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	416,528	300,219	300,925	72.2	813.94		
2023年3月期	421,179	293,297	293,979	69.8	783.30		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 -	円 銭 16.00	円 銭 -	円 銭 16.00	円 銭 32.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	16.00	-	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	273,000	△2.2	46,000	4.0	34,500	3.8	94.27

IFRS(フル)ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	273,000	△2.2	32,000	-	29,800	-	22,400	-	61.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

- IFRS(フル)ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明(P5参照)」をご覧ください。
- 2023年5月11日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たりコア当期利益」及び「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	375,890,854株	2023年3月期	375,885,854株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	5,988,591株	2023年3月期	345,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	372,779,530株	2023年3月期1Q	396,746,025株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2023年3月期 41,909株、2024年3月期1Q 15,435株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年8月3日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計上の見積りの変更)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(重要な後発事象)	15
3. 連結参考資料	16
(1) 主要製品売上収益	16
(2) 主要通貨為替レート	16
(3) 開発状況	17
(4) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1（P5参照）

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	65,533	72,389	10.5%
コア営業利益	10,600	15,542	46.6%
コア四半期利益	7,744	12,792	65.2%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	7,762	12,800	64.9%

[売上収益]

前年同期と比べ10.5%増加し、724億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、日本では薬価改定の影響等があったものの主力製品の拡大に注力、中国では前年の新型コロナウイルス感染症の再拡大からの市場の回復、アジア・EMEAでも主力製品が堅調に推移し、前年同期と比べ9.9%増加し、672億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率、()は為替影響を除いた対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	37,126	6,491	5,869	17,022	675	67,183
	△4.4%	80.8%	7.4%	37.0%	△14.5%	9.9%
	(-%)	(80.8%)	(4.2%)	(31.5%)	(△19.0%)	(8.5%)
一般用医薬品	2,628	64	194	-	-	2,886
	22.7%	101.8%	△5.9%	-	-	21.3%
医療機器	870	18	10	779	208	1,884
	△2.3%	501.0%	-	22.1%	124.9%	16.1%
その他	393	9	33	-	-	435
	△3.7%	56.5%	188.6%	-	-	2.4%
合計	41,016	6,583	6,106	17,802	883	72,389
	△3.0%	81.3%	7.5%	36.3%	0.1%	10.5%
	(-%)	(81.3%)	(4.3%)	(30.6%)	(△5.5%)	(9.0%)

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

2022年11月に販売を開始したジクアスLX点眼液等の主力製品の拡大に注力したものの、2%台半ばの薬価改定の影響や前期末のアレジオン点眼液^{※2}好調の反動により、前年同期と比べ4.4%減少し、371億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	20億円	（対前年同期増減率	△ 13.2%）
「タプコム配合点眼液」	7億円	（対前年同期増減率	△ 9.4%）
「コソプト配合点眼液」	11億円	（対前年同期増減率	△ 21.8%）
「エイベリス点眼液」	11億円	（対前年同期増減率	+ 3.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液 ^{※3} （P5参照）」	55億円	（対前年同期増減率	+ 41.0%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液 ^{※2} （P5参照）」	28億円	（対前年同期増減率	△ 42.4%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液 ^{※4} （P5参照）」	185億円	（対前年同期増減率	+ 1.2%）

◇中国

市場は前年の新型コロナウイルス感染症の再拡大から回復し、主力製品が好調に推移した結果、円換算並びに現地通貨ベースで前年同期と比べ80.8%増加し、65億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	3億円	（対前年同期増減率	+152.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	11億円	（対前年同期増減率	+ 64.8%）
「ヒアレイン点眼液」	20億円	（対前年同期増減率	+123.1%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	16億円	（対前年同期増減率	+123.4%）

◇アジア（中国除く）

主要国で主要製品が堅調に推移し、円換算ベースで前年同期と比べ7.4%増加し（為替影響を除いた成長率は+4.2%）、59億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+ 3.3%）
「タプコム配合点眼液」	3億円	（対前年同期増減率	+ 23.4%）
「コソプト配合点眼液」	16億円	（対前年同期増減率	+ 12.6%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+ 2.2%）
「Ikervis（アイケルビス）」	4億円	（対前年同期増減率	+ 5.6%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	6億円	（対前年同期増減率	+ 25.7%）

◇ EMEA

現地での領域別市場シェア一位の緑内障製品を中心に伸長し、当第1四半期にIkervis（アイケルビス）の保険償還の精算額の見直しを行った影響もあり、円換算ベースで前年同期と比べ37.0%増加し（為替影響を除いた成長率は+31.5%）、170億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・ 緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	21億円	（対前年同期増減率	+ 4.0%）
「タプコム配合点眼液」	14億円	（対前年同期増減率	+ 21.8%）
「コソプト配合点眼液」	35億円	（対前年同期増減率	+ 12.5%）
「トルソプト点眼液」	9億円	（対前年同期増減率	+ 7.4%）
・ 角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	41億円	（対前年同期増減率	+181.3%）
「Cationorm（カチオノーム）」	8億円	（対前年同期増減率	+ 13.7%）
・ 抗アレルギー点眼剤領域			
「Verkazia（ベルカジア）」	3億円	（対前年同期増減率	+ 91.3%）

◇ 米州

円換算ベースで前年同期と比べ14.5%減少し（為替影響を除いた成長率は△19.0%）、7億円となりました。

< 一般用医薬品 >

前年同期と比べ21.3%増加し、29億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、「サンテFXシリーズ」、「ウェルウォッシュアイ」に注力しています。

< 医療機器 >

EMEAでのプリザーフロ マイクロシヤントの販売が好調に推移し、前年同期と比べ16.1%増加し、19億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「レンティス コンフォート」	3億円	（対前年同期増減率	△ 0.1%）
「プリザーフロ マイクロシヤント」	9億円	（対前年同期増減率	+ 42.2%）

< その他 >

その他の売上収益は4億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ14.3%増加し、424億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ6.3%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+3.3%）、207億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ12.4%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△14.6%）、62億円となりました。

以上により、コアベースの営業利益は、前年同期と比べ46.6%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+46.7%）、155億円となりました。

- ※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。
- ・製品に係る無形資産償却費
 - ・その他の収益
 - ・その他の費用
 - ・金融収益
 - ・金融費用
 - ・持分法による投資損益
 - ・企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用
- ※2 アレジオンLX点眼液を含みます。
- ※3 ジクアスLX点眼液を含みます。
- ※4 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

(イ) IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	65,533	72,389	10.5%
営業利益	8,333	12,750	53.0%
四半期利益	6,695	10,412	55.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6,663	10,414	56.3%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益について、前年同期と比べ14.1%増加し、424億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ8.4%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+5.2%）、211億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ11.2%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△13.4%）、63億円となりました。

コアベースからの調整内容として、米州の合理化に関する費用が、売上原価に1億円、販売費及び一般管理費に4億円、研究開発費に1億円それぞれ発生しました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ8.8%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△11.1%）、23億円となりました。これは主に、2014年にMerck & Co., Inc.（米国）から譲り受けた眼科製品及び2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したプリザーフロ マイクロシヤントに関する無形資産、並びに2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」及び2023年より欧州で販売を開始した「Rhopressa / Rocklatan」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、3億円となりました。

その他の費用は、2億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は前年同期と比べ53.0%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+54.3%）、127億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、11億円となりました。

金融費用は、2億円となりました。

持分法による投資損失は、8億円となりました。これは主にVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、前年同期から1億円増加し、25億円となりました。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ55.5%増加し、104億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ56.3%増加し、104億円となりました。売上収益に対するその比率は、14.4%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF₂α誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2022年12月に販売承認を申請しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：sepetaprost）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2022年8月から第Ⅲ相試験を実施しています。欧州では第Ⅱ相試験（探索的試験）を終了しました。

プロスタグランジンF₂α誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、アジアで2022年3月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では2022年9月に販売承認を申請しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩）は、日本で2020年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。欧州では販売承認を取得しており、スウェーデンで2023年2月に発売しました。アジアでは順次販売承認を申請しており、タイで2023年1月に販売承認を取得しました。

ROCK阻害剤及びプロスタグランジンF₂α誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得しており、ドイツで2023年1月に発売しました。アジアでは順次販売承認を申請しており、タイで2023年1月に販売承認を取得しました。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、既に承認・販売されている欧州、アジア、カナダなどに続き、中国で2022年4月に販売承認を取得し、米国で2022年5月に発売しました。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc.（米国）へ供与しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2022年11月に発売しました。アジアでは、2023年3月に韓国で販売承認を申請しました。

ドライアイを対象とするSTN1014100（一般名：オロダテロール塩酸塩）は、日本で2023年1月に第Ⅰ相／前期第Ⅱ相試験を開始しました。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904*（一般名：シロリムス）は、米国、フランス、インドで2022年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。（*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2022年8月に前期第Ⅱ相試験を終了し、今後の開発計画を検討中です。

アレルギー性結膜炎を対象とするSTN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2023年3月に製造販売承認を申請しました。

<屈折異常領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2019年8月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。中国では2022年6月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2023年5月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。

老視を対象とするSTN1013600（一般名：ウルソデオキシコール酸）は、米国で2022年12月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。日本では2022年4月に第Ⅰ相試験を終了しました。

<その他の領域>

眼瞼下垂を対象とするSTN1013800（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）は、日本で2022年10月に第Ⅲ相試験を開始しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAlcon Inc.（スイス）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

※STN1011700（DE-117、一般名：オミデネバグ イソプロピル）は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc.（米国）へ供与しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、4,165億円となりました。棚卸資産の増加などがあった一方、配当金の支払及び自己株式の取得による現金の減少、並びに営業債権の減少などにより前期末と比べ47億円減少しました。

資本は、3,002億円となりました。自己株式の取得などがあった一方、利益剰余金の増加及びその他の資本の構成要素の増加などにより前期末と比べ69億円増加しました。

負債は、1,163億円となりました。営業債務及びその他の債務の減少、法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少、並びに賞与の支払いによるその他の流動負債の減少などにより前期末と比べ116億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.4ポイント増加し、72.2%となりました。

なお、SantenグループではROE（親会社所有者帰属持分利益率）を最重要指標に、キャッシュ・フローの最大化と資本コストの低減の両面から株主価値最大化に取り組んでいます。キャッシュの源泉としては営業活動から得られるインフローを基本としつつ、キャッシュ・コンバージョン・サイクル管理により運転資本の効率を高めることでキャッシュ創出力の最大化に取り組まします。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、25億円の収入（前年同期は24億円の収入）となりました。主に四半期利益104億円、減価償却費及び償却費40億円、営業債権及びその他の債権の減少48億円、並びに法人所得税の支払額62億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億円の支出（前年同期は62億円の支出）となりました。主に有形固定資産の取得による支出25億円及び無形資産の取得による支出5億円などによるものです。また政策保有株式の見直しを継続して実施しており、当第1四半期は1銘柄の投資の売却による収入が4億円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、138億円の支出（前年同期は138億円の支出）となりました。主に自己株式の取得による支出70億円及び配当金の支払額59億円などによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ124億円減少し、455億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2023年5月11日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	65,533	72,389
売上原価	△28,406	△30,024
売上総利益	37,127	42,365
販売費及び一般管理費	△19,427	△21,066
研究開発費	△7,099	△6,301
製品に係る無形資産償却費	△2,554	△2,329
その他の収益	332	303
その他の費用	△45	△222
営業利益	8,333	12,750
金融収益	1,385	1,050
金融費用	△123	△168
持分法による投資損失	△521	△764
税引前四半期利益	9,074	12,868
法人所得税費用	△2,379	△2,456
四半期利益	6,695	10,412
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	1,101	1,394
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	10,846	7,223
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	837	749
その他の包括利益	12,784	9,366
四半期包括利益合計	19,479	19,778
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	6,663	10,414
非支配持分	32	△2
四半期利益	6,695	10,412
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	19,483	19,802
非支配持分	△4	△24
四半期包括利益合計	19,479	19,778
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	16.79	27.93
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	16.77	27.85
<コアベース>		
売上収益	65,533	72,389
コア営業利益	10,600	15,542
コア四半期利益	7,744	12,792
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	19.55	34.33
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	19.54	34.23
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	7,762	12,800
非支配持分	△18	△8
コア四半期利益	7,744	12,792

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	66,173	68,425
無形資産	96,309	97,083
金融資産	28,038	30,163
退職給付に係る資産	3,438	3,268
持分法で会計処理されている投資	9,321	9,450
繰延税金資産	2,810	2,947
その他の非流動資産	1,763	1,926
非流動資産合計	207,853	213,262
流動資産		
棚卸資産	39,352	42,228
営業債権及びその他の債権	107,165	103,773
その他の金融資産	774	1,584
未収法人所得税	60	58
その他の流動資産	8,072	10,113
現金及び現金同等物	57,903	45,510
流動資産合計	213,326	203,266
資産合計	421,179	416,528

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,702	8,707
資本剰余金	9,789	9,955
自己株式	△364	△7,372
利益剰余金	238,071	242,661
その他の資本の構成要素	37,781	46,975
親会社の所有者に帰属する持分合計	293,979	300,925
非支配持分	△683	△706
資本合計	293,297	300,219
負債		
非流動負債		
金融負債	33,513	34,691
退職給付に係る負債	1,271	1,349
引当金	691	696
繰延税金負債	1,592	1,929
その他の非流動負債	1,312	1,452
非流動負債合計	38,378	40,118
流動負債		
営業債務及びその他の債務	44,945	41,330
その他の金融負債	25,858	24,423
未払法人所得税等	6,745	3,132
引当金	4,212	2,632
その他の流動負債	7,744	4,675
流動負債合計	89,504	76,192
負債合計	127,883	116,309
資本及び負債合計	421,179	416,528

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2022年4月1日残高	8,672	9,370	△718	290,477	—	8,438
四半期包括利益						
四半期利益				6,663		
その他の包括利益						1,101
四半期包括利益合計	—	—	—	6,663	—	1,101
所有者との取引額						
新株の発行	6	6				
自己株式の取得		△8	△7,197			
配当金				△6,405		
株式報酬取引		187				
その他				240		△240
所有者との取引額合計	6	186	△7,197	△6,165	—	△240
2022年6月30日残高	8,678	9,556	△7,916	290,975	—	9,300

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2022年4月1日残高	19,950	914	384	29,688	337,488	△645	336,844
四半期包括利益							
四半期利益				—	6,663	32	6,695
その他の包括利益	10,882	837		12,820	12,820	△36	12,784
四半期包括利益合計	10,882	837	—	12,820	19,483	△4	19,479
所有者との取引額							
新株の発行			△5	△5	7		7
自己株式の取得				—	△7,205		△7,205
配当金				—	△6,405		△6,405
株式報酬取引				—	187		187
その他				△240	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△5	△244	△13,415	—	△13,415
2022年6月30日残高	30,833	1,751	380	42,264	343,556	△648	342,908

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2023年4月1日残高	8,702	9,789	△364	238,071	—	7,917
四半期包括利益						
四半期利益				10,414		
その他の包括利益						1,394
四半期包括利益合計	—	—	—	10,414	—	1,394
所有者との取引額						
新株の発行	4	4				
自己株式の取得		△9	△7,037			
自己株式の処分			29			
配当金				△6,009		
株式報酬取引		170				
その他				185		△185
所有者との取引額合計	4	165	△7,008	△5,825	—	△185
2023年6月30日残高	8,707	9,955	△7,372	242,661	—	9,126

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2023年4月1日残高	27,971	1,562	331	37,781	293,979	△683	293,297
四半期包括利益							
四半期利益				—	10,414	△2	10,412
その他の包括利益	7,245	749		9,388	9,388	△22	9,366
四半期包括利益合計	7,245	749	—	9,388	19,802	△24	19,778
所有者との取引額							
新株の発行			△9	△9	0		0
自己株式の取得				—	△7,045		△7,045
自己株式の処分				—	29		29
配当金				—	△6,009		△6,009
株式報酬取引				—	170		170
その他				△185	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△9	△193	△12,856	—	△12,856
2023年6月30日残高	35,216	2,311	322	46,975	300,925	△706	300,219

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	6,695	10,412
減価償却費及び償却費	4,469	4,031
持分法による投資損益（△は益）	521	764
金融収益及び金融費用（△は益）	△201	△218
法人所得税費用	2,379	2,456
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	1,925	4,766
棚卸資産の増減（△は増加）	△744	△1,708
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△1,486	△3,905
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	314	△953
その他の流動資産の増減（△は増加）	△1,408	△1,900
未払賞与の増減（△は減少）	△5,102	△3,877
未払金の増減（△は減少）	△532	△3,022
その他	△1,388	1,713
小計	5,442	8,560
利息の受取額	59	93
配当金の受取額	226	242
利息の支払額	△93	△144
法人所得税の支払額	△3,214	△6,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,419	2,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△304	—
投資の売却による収入	467	388
有形固定資産の取得による支出	△3,202	△2,481
無形資産の取得による支出	△3,047	△456
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△47	△135
その他	△94	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,226	△2,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△7,197	△7,037
配当金の支払額	△6,320	△5,920
リース負債の返済による支出	△801	△827
その他	547	23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,772	△13,761
現金及び現金同等物の増減額	△17,579	△13,917
現金及び現金同等物の期首残高	83,014	57,903
現金及び現金同等物の為替変動による影響	3,141	1,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,575	45,510

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

売上収益は、返品、リベート及び値引き等を差し引いた純額で測定しています。変動対価を含む売上収益の金額については、変動対価に関する不確実性が解消された時点で認識した収益の累計額の重大な戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲内でのみ、取引価格に含めています。その変動対価は見積りに基づいているため、より有用な情報を入手できる場合に変更される可能性があります。当第1四半期連結累計期間において、Ikervis（アイケルビス）の保険償還の精算額の協議を進める中で、精算額の見積りを変更しました。この結果、売上収益が2,315百万円増加しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（自己株式の取得）

当社は、2022年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2022年5月11日から2022年6月30日までに7,105,500株を総額7,197百万円で取得しています。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 12,500,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.1%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 150億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2022年5月11日～2022年9月30日 |
| ⑤ 取得方法 | 投資一任契約に基づく市場買付け |
| ⑥ その他 | 本件により取得した自己株式については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、当連結会計年度に消却する予定です。 |

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（自己株式の取得）

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2023年5月12日から2023年6月30日までに5,669,900株を総額7,036百万円で取得しました。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 18,750,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.0%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 245億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2023年5月12日～2024年3月22日 |
| ⑤ 取得方法 | 取引一任方式による市場買付け |
| ⑥ その他 | 自己株式については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、消却する予定です。
なお、投資機会や市場環境等により、一部の取得が行われない可能性もあります。 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名	地域	2023年3月期				2024年3月期				
		第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率	
緑内障・高眼圧症治療剤領域										
コソプト配合点眼液	合計	6,030	10.9%	23,702	9.0%	6,294	4.4%	22,798	△3.8%	
	日本	1,434	△9.0%	4,675	△17.3%	1,121	△21.8%	4,076	△12.8%	
	アジア	1,460	17.7%	6,110	18.5%	1,643	12.6%	6,385	4.5%	
	EMEA	3,137	19.7%	12,917	18.0%	3,530	12.5%	12,336	△4.5%	
タプロス点眼液	合計	4,895	4.5%	18,744	1.7%	4,884	△0.2%	16,096	△14.1%	
	日本	2,275	△0.3%	7,761	△7.7%	1,973	△13.2%	6,030	△22.3%	
	中国	126	△52.4%	1,045	△10.7%	320	152.8%	877	△16.1%	
	アジア	516	5.2%	2,277	9.6%	532	3.3%	2,289	0.5%	
タブコム配合点眼液	合計	2,129	21.8%	8,202	17.7%	2,360	10.8%	7,992	△2.6%	
	日本	760	5.0%	2,649	△3.2%	689	△9.4%	1,922	△27.5%	
	アジア	240	38.9%	1,051	28.9%	296	23.4%	1,252	19.1%	
	EMEA	1,129	32.7%	4,502	31.7%	1,374	21.8%	4,819	7.0%	
トルソプト点眼液	合計	1,251	7.0%	4,882	11.6%	1,272	1.7%	4,453	△8.8%	
	日本	294	△4.9%	980	△11.6%	245	△16.9%	894	△8.8%	
	アジア	98	7.0%	454	18.8%	105	6.9%	467	2.9%	
	EMEA	859	11.8%	3,448	19.6%	922	7.4%	3,092	△10.3%	
エイベリス点眼液	合計	1,123	36.5%	4,156	21.5%	1,208	7.6%	4,750	14.3%	
	日本	1,076	33.5%	3,905	18.2%	1,117	3.8%	4,336	11.0%	
	アジア	47	178.0%	251	116.9%	91	94.5%	413	64.8%	
角結膜疾患治療剤領域										
ジクアス点眼液 (ジクアスLX点眼液を含む)	合計	5,069	11.7%	20,988	11.4%	7,101	40.1%	27,940	33.1%	
	日本	3,876	13.9%	16,259	21.9%	5,465	41.0%	21,859	34.4%	
	中国	666	△4.5%	2,772	△32.0%	1,098	64.8%	3,522	27.0%	
	アジア	527	20.5%	1,957	37.9%	539	2.2%	2,560	30.8%	
ヒアレイン点眼液	合計	3,303	△22.3%	14,781	△16.9%	3,938	19.2%	16,162	9.3%	
	日本	1,636	△4.9%	5,718	△11.6%	1,414	△13.6%	4,781	△16.4%	
	中国	875	△59.2%	6,433	△28.1%	1,951	123.1%	8,468	31.6%	
	アジア	793	105.5%	2,630	11.0%	574	△27.6%	2,913	10.8%	
Ikervis (アイケルビス)	合計	1,817	9.8%	6,839	16.8%	4,486	146.8%	8,759	28.1%	
	アジア	357	45.3%	1,549	40.0%	377	5.6%	2,143	38.3%	
	EMEA	1,460	3.6%	5,290	11.4%	4,109	181.3%	6,617	25.1%	
Cationorm (カチオノーム)	合計	1,099	32.6%	4,010	24.2%	1,215	10.5%	4,693	17.0%	
	中国	—	—	—	—	—	—	464	—	
	アジア	121	17.2%	441	△5.4%	92	△23.9%	485	9.8%	
	EMEA	707	32.9%	2,626	26.3%	803	13.7%	2,650	0.9%	
抗アレルギー点眼剤領域	合計	4,846	△4.3%	33,550	14.1%	2,816	△41.9%	22,669	△32.4%	
	ア レ ジ オ ン 点 眼 液 (ア レ ジ オ ン L X 点 眼 液 を 含 む)	日本	4,798	△4.8%	33,400	14.1%	2,766	△42.4%	22,505	△32.6%
	アジア	48	75.5%	149	40.2%	51	5.1%	163	9.6%	
	合計	213	29.7%	914	44.4%	416	95.3%	1,416	54.8%	
Verkazia (ベルカジア)	EMEA	157	1.7%	748	28.0%	301	91.3%	967	29.3%	
	米州	56	483.8%	166	241.2%	115	106.6%	401	141.2%	
	合計	213	29.7%	914	44.4%	416	95.3%	1,416	54.8%	
網膜疾患治療剤領域										
アイリーア硝子体内注射液	合計	18,230	△2.7%	71,257	△1.7%	18,455	1.2%	64,262	△9.8%	
	日本	18,230	△2.7%	71,257	△1.7%	18,455	1.2%	64,262	△9.8%	
眼感染症治療剤領域										
クラビット点眼液	合計	1,926	△37.1%	11,381	△2.8%	2,935	52.4%	12,303	8.1%	
	日本	378	△22.6%	1,285	△26.7%	325	△14.1%	1,119	△12.9%	
	中国	727	△58.5%	6,309	△9.4%	1,625	123.4%	7,475	18.5%	
	アジア	476	△5.7%	2,380	27.5%	598	25.7%	2,439	2.5%	
医療機器	合計	331	△2.9%	1,331	△6.4%	330	△0.1%	1,601	20.3%	
	レンティス コンフォート	日本	331	△2.9%	1,331	△6.4%	330	△0.1%	1,601	20.3%
	合計	627	80.6%	2,429	50.6%	892	42.2%	3,203	31.9%	
	ブリザーフロ マイクロシャント	日本	—	—	94	—	110	—	214	128.5%
一般用医薬品	合計	2,379	△2.7%	10,628	8.7%	2,886	21.3%	11,054	4.0%	
	日本	2,141	△7.1%	9,595	4.5%	2,628	22.7%	9,922	3.4%	
	中国	31	—	262	—	64	101.8%	382	46.1%	
	アジア	207	48.5%	771	31.2%	194	△5.9%	750	△2.7%	

(2) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2023年3月期 第1四半期	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	2024年3月期 (予想)
USドル	129.16	135.40	138.01	130.00
ユーロ	137.80	140.97	149.80	140.00
中国元	19.58	19.72	19.58	19.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（3）開発状況

2023年7月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

<緑内障・高眼圧症領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国	2022年12月					
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2022年12月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本						
				欧州	(探索的試験)					
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2022年8月からフェーズ3試験を実施中。欧州で、フェーズ2試験（探索的試験）を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州	2022年9月					
				アジア						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2022年3月にフェーズ3試験を終了。欧州で、2022年9月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジルメシル酸塩	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	日本						
				欧州	2023年2月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ3試験を実施中。欧州で、販売承認取得しており、スウェーデンで2023年2月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、タイで2023年1月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト	STN1014000 / PG-324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	欧州	2023年1月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤及びプロスタグランジンF _{2α} 誘導体の配合剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、ドイツで2023年1月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、タイで2023年1月に販売承認を取得。										

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	中国	2022年4月					
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2022年5月に発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc.（米国）へ供与。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本	2022年11月					
				アジア	2023年3月					
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年11月に発売。アジアでは、韓国で2023年3月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オロダテロール塩酸塩	STN1014100	ドライアイ	ベーリンガーインゲルハイム	日本	(フェーズ1/2a)					
β2受容体作動薬。日本で2023年1月にフェーズ1／2a試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮ジストロフィ	アクチュアライズと共同開発	米国 フランス インド	(フェーズ2a)					
mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月から米国、フランス、インドでフェーズ2a試験を実施中。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本	(フェーズ2a)					
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2022年8月にフェーズ2a試験を終了。今後の開発計画検討中。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本	2023年3月					
ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2023年3月に製造販売承認を申請。										

<屈折異常領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本 中国 アジア	(フェーズ2／3)					
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月からフェーズ2／3試験を実施中。中国で、2022年6月からフェーズ2／3試験を実施中。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験を実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有している。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガーインゲルハイム	日本	(フェーズ2a)					
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM2受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2023年5月にフェーズ2a試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ウルソデオキシコール酸	STN1013600	老視	自社	米国 日本	(フェーズ2a)					
水晶体の弾力性を向上させることで老視の症状を改善。米国で、2022年12月にフェーズ2a試験を開始。日本で、2022年4月にフェーズ1試験を終了。										

<その他の領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オキシメタゾリン塩酸塩	STN1013800	眼瞼下垂	RVL Pharmaceuticals社	日本						
直接作用型αアドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2022年10月にフェーズ3試験を開始。										

■2022年度第4四半期決算発表時（2023年5月11日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1013400	日本で、2023年5月にフェーズ2a試験を開始。

※STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc.（米国）へ供与しました。

（4）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	5,977	21,144	2,588	13,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	1,207	4,943	1,387	6,960
製 造 経 費	583	2,342	634	3,550
販 売 管 理 費	482	1,986	597	2,720
研 究 開 発 費	142	615	156	690

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	2,554	9,518	2,329	9,400
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	1,452	5,808	1,452	5,810
E y e v a n c e 無 形 資 産 償 却 費	545	1,142	—	—
プ リ ザ ー フ ロ マ イ ク ロ シ ャ ン ト 無 形 資 産 償 却 費	274	1,149	293	1,100
R h o p r e s s a / R o c k l a t a n 無 形 資 産 償 却 費	—	281	298	1,120
I k e r v i s (ア イ ケ ル ビ ス) 無 形 資 産 償 却 費	195	798	212	790
そ の 他	88	340	74	580

■研究開発費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績*	通期見込
研 究 開 発 費	7,099	28,297	6,301	29,000
対 売 上 収 益 比	10.8%	10.1%	8.7%	10.6%

*IFRS（フル）ベースの金額です。なお、コアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用1億円を控除し、6,221百万円です。

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。